



障害のある人たちの権利に
関する条約を学ぶ

▲講演する藤井さん。講演終了後、参加者から質問や感想をきいて、ていねいに答えていただきました。



さいたま市障害者自立支援法学習フォーラムは、七
回目として障害者権利条約を分かりやすく学ぶため、
二月六日（水）日本障害者協議会（J.D）常務理事藤
井克徳氏をお迎えして埼玉県障害者交流センターで開
催されました。

また、藤井さんの講演の前に、埼玉県では障害者が
教育を受ける権利、働く権利、生きる権利はどのよう
に守られてきたのか、体験してきた方たちに発表して
いただくと言うことになり、七十歳代の三人の方に
お話をうかがいました。

私たちが学んだこと

私たちにとつての

障害者権利条約

さいたま市精神障害者家族会
連絡会

川島 哲也

障害者権利条約（以下「条約」と略）についてほとんど知識のない私にとつて、標題のテーマは全く荷の重いものでしたが、にわか仕込みの学習で多少でも整理できたことを、以下にまとめてみます。

「条約」の意味するもの

日本障害者協議会の藤井克徳氏の講演によると、「条約」は以下の意味を持ちます。

①「条約」は各国憲法の下にあるが、一般の法律よりは上位に位置する。従つて、既存の法律や政令、条例等で「条約」に違反するものは改正を要するか、積極的な立法措置が必要になる。「条約」は、いわば世界共通の法律である。

②「条約」は今、署名（将来批准する意思があることを表明する行為）した段階で、登山でいえば三合目、今後批准（署名した国が「条約」に拘束されることとの同意を正式に行なうこと）で、日本では国会の承認が前提）が必要になるが、その時期は不明。

③政府による「条約」の翻訳は不正確であるが、「条約」は前文に加え、第一

条から第五〇条まである。いずれも重要であるが、特に第二条（定義）、第十九

条（自立した生活等）、第二七条（労働及び雇用）、第三三条（国内における実施及び監視）等は重視したい。

④今後私たちが努力すべき目標は、障害者差別禁止法と条例（自治体毎の法律）をつくること、「条約」を正確に解釈して、自立支援法など現在の法律と制度を総点検すること、それには「条約」について関係者が多くの場、機会にみんなできちんと学び合うことが大事である。

精神障害者と「条約」

それでは、精神障害者（以下「精神」と略）にとつて、「条約」はどういう意味を持つのかについて、考えてみましょう。「障害者の権利条約でこう変わる」（東俊裕監修、DPI日本会議編集、〇



▲学ぶこと、働くこと、生きることを求めて…

七年十二月発行）によると、山本眞利氏（全国「精神病」者集団）は以下の主張をしています。

①「精神」には、強制的に入院させるための法律があり、「条約」はその撤廃を求めるものだ。従つて、強制収容法である精神保健福祉法も成年後見法も撤廃されねばならない。

②最大の成果は第十二条（法律の前にひとしく認められる権利）で、そのほか第十三条（司法手続の利用）、第十五条（拷問の禁止）、第十七条（個人の保護）、第十九条、第二五条（健康）等も重要。バリアだらけの現状をどう変えるかが今後の課題。

山本氏の主張には、現時点で賛同しかねる点もありますが、私達「精神」の家族としては、もっと勉強し議論をつくして、関係先に要望を反映させねばなりません。あくまでも「私たちのことを、私たち抜きに決めないで！」の考えを守りましょう。

権利条約につながる 小さな要求を大切に

さいたま市手をつなぐ育成会

阿久津奉子

七回目となる自立支援法学習フォーラムは、「障害のある人の権利に関する条

権利を守るといふ

意識があつた

わけではないけれど

いまから三十年くらい前まで、障害のある人のさまざまな権利はあつてないようなものでした。

一九八一年、この年が国際障害者年で、その後国連障害者の十年が制定されノーマライゼーションという言葉が日本の社会に広がって行つたころから、障害のある人の権利が口にされるようになりました。

ノーマライゼーションという言葉が普通の人から口にしたり、新聞に取り上げられたりして、少しはいいところまで行くかなと思つていたので、振り返つて「いま」を見れば、逆に悪くなつていようにさえ思えます。

今回、藤井さんの前座としてステージに上がった三人の人は、教育を受ける権利、働く権利、自分が住みたいところに住む権利を求めて三十年以上前から、巨大な水車に立ち向かうドンキホーテのように、がむしゃらに生きてきた人たちです。自分たちが欲しいものは何もなくて、何もないことが腹立たしくて、だったら自分で作ろうと立ち上がつて、かなり無理なこともしてきた人たちです。

短い時間の中で、どれだけ思いが伝わったかと思いますが、同時に、後輩

約と私たち」という、なにやら難しそうな
なはなしと覚悟して参加しました。

前半の発表では、脳性マヒの娘さんが
教育や訓練を受ける権利を手にするまで
の親たちの活動、就職につながる人
たちの働く場を獲得するまでの運動、そ
して、情報を得られなかったために、病
気が回復していたのに人生の大半を病院
で過ごしてしまった方の話と、すべて引
き込まれる内容でした。

三人のお話を聞いていて、身近なところ
にある小さな要求が、運動の一つ一つ
が、この権利条約につながっているのだ
と感じました。

私ごとになりますが、三十三歳になる

障害者自立支援法の見直しを求めて県民集会

平成十九年十二月五日に開かれた県
民集会には、一三五〇人の関係者が参
加しました。

涙を流す人、怒りに震える人を無視
して「障害者自立支援法」が施行され
二年になろうとしています。私たちの
声に押され再度の軽減措置は取ったも
の、障害者や家族、施設関係者から
はこれでは自立できない、施設運営が
できないなど、未だに悲鳴の声が後を
絶ちません。

こうした現状を打開しようと、自立
支援法の見直しと県障害者福祉の推進
を求める県民集会が十二月五日、さい
たま市文化センターで開催されました。

埼玉県障害者協議会 新井 真一

私の息子が、「自閉症」という聞いたこ
ともない診断を受けてから、いろいろな

書物で調べたり、自閉症の団体から情報
を得たりした結果、早期の療育や指導が
重要であると気付いて早速医療機関を探
しました。

しかし、当時地域には障害児の通園施
設がなく、他市の施設を利用することも
とても大変でした。障害の認定で国から
支給される手当てを何人かで出し合っ
て給料にすれば施設の運営ができるので
はないかと考えて、何度も市役所にお願
いに行きました。

結局、私の息子も寄留という形をとり、
他市の幼児施設に通いました。

メインはリレートークで、ホームへ
ルパーや移動支援を利用する立場か
ら、施設を運営する立場からなど、関
係者十名から発言があり、車イスの障
害者はトイレや食事をするのになぜお
金が必要なの、県の生活ホーム事業で
は日割計算、5%カットで利用者への
支援ができないなど悲痛な叫びが会場
に響きました。

この集会は、県障害者協議会、県発
達障害福祉協会など関係する団体が開
催したもので、これからも知恵と力を
寄せ合い活動して行くことを確認でき
る場ともなりました。

そこでの指導は、本人を教育する上で
の基本になっています。何年か後に地域
にも通園施設ができたときは、ほんとう
によかったと思いました。

中学では特殊学級に在籍しましたが、
本人に合った指導はほとんど受けられず、
私は中学時代の学校での目標を電車通学
と集団生活への適応と考え、親としては
将来少しでもできることを増やそうと考
えて、家庭でできることを試みました。

卒業間際になって、担任から「卒業式
には出席しないように」といわれました。
息子の三年間の学校生活はなんだったの
か、学校は息子に何を指導してきたのか
と愕然としました。

このときは、卒業アルバムには特殊学
級の子の写真は載せないという話が出
て、一人では対応できず、育成会の会長
といっしょに抗議に行きました。

藤井さんのお話を聞いていて、昔体験
していたいろいろなことが甦ってきました。
こうした身近なことへの疑問を訴えてい
くことが、「権利を得る」ということにつ
ながって行くのではないかと思います。
権利条約の中身まではわかりませんで
したが、世界共通の法律となるのですか
ら、今後日本の政府がどのような認め方
をするか、私たちの意見も聞いて現状に
合ったものができるよう、しっかり学習
して行きたいと思いました。

の方がようやく整ってきた障害者施
策の利用者として、使い勝手のよいも
のだけを求めて、自ら創り出す努力を
しなくなっているのではないかと
ことも気になるところです。

わが子のためだけでなく、自分の
ためだけでもなく、ひとりでも多くの
人のためにと力を注いできた三人の思
いを受け継いでいただきたいと願っ
ています。
(A)

スポーツ・勉強の合間に 爽やかさと潤いを提供します



・三国コカ・コーラグループ
・自動販売機総合オペレーター

・三国フーズ株式会社

TEL 048-774-5122 363-8061 桶川市大字加納180

障害ってなんですか あなたは障害とどうつきあっていますか 障害はいやなものですか

「この身は私」

千葉 諭美

「ああ、ああ、この身は私じゃない！」
 中学の国語教科書に載っていた吉行淳之介作「童謡」のフレーズです。初めて読んでから数十年が経過していますが、このフレーズは読んだ時の衝撃と共に記憶に刻まれています。

運賃が大人料金となり（当時「国鉄」の大人初乗り料金は三十円でした）、身体も刻々と大人モードに変化し、さらに初めての受験を控え、心身ともに不安定な時期でした。ただでさえ、思春期は自意識が過剰に反応するものです。私も御多分にもれず「二重瞼だったら」「O脚でなければ」「流行おくれの洋服は恥ずかしい」―限がありません。

「この我慢ならない今の自分は、本当の私じゃないんだ」と考えることで、ある種現実逃避の開放感を感じられたのでしょうか。このフレーズは以来私の中に居座ってしまいました。

私は、二〇〇五年一月に急性虫垂炎の開腹手術を受けました。

その約半年後、今度は腸閉塞になり手遅れの状態で再び開腹手術を受けました。

もはや自力では起き上がることが出来なくなっていた病室のベッドの上で、「今日手術しないと命の保障は出来ません」から始まったドクターの説明を「そうだろうなあ」と思いながら聞きました。腹水でパンパンに腫れた腹部と、絶え間ない寒気に震えながら「人間の身体はこうして冷たくなっていくのかな」と考えていました。

この状態では開腹手術しか手立てはないだろうと、素人とは言え覚悟は定まっていたからと、



ていました。むしろ「早く切ってください

い先生！」の心境でした。慌しく手術の準備が進む中、寝たままの私と担当のナース二人きりになった時、「全力でサポートするからね」と声を掛けてくれました。声を出す力が失せていた私は頷くことしかできませんでしたが、この一言がどんなに心強かったことか！声掛けの大切さを実感した瞬間でした。

麻酔から覚めたのは病室でした。手術室に入ってからどれ位経ったのか、皆目見当が付きません。ただ「じゃ帰るからね」と母があっさり帰宅していくところから面会終了時刻と推測がつかえました。母と入れ替わりにドクターが入って来ました。ドクターはベッドサイドに屈み視線を合わせてこう話しかけてきました。

千葉諭美さんのプロフィール
 ご自分が一時人工肛門を装着した経験を通じて障害のことを考えるようになり、平成十九年度障害者週間記念心の輪を広げる体験作文に応募され、さいたま市高校生・一般の部でみごと最優秀賞を受賞。十一月二十三日の記念事業には出席して作品を発表されました。病気の後、食物に気をつけるようになり、今では料理が趣味になりました。

「どうですか？でね、人工肛門がついたからね」
 「何だそれは!？」咄嗟にこう思いましたが、口から出た言葉は「えええーっ!!」だけでした。先生は間髪入れず「ついちゃったものはしょうがないからね」サラリと口にされました。

私は、この言葉を聞いて落胆するよりもむしろ落ち着きました。「そうだ、その通りだ。元に戻れないし、人工肛門がなければ生きていけないんだ。よし、一緒に生きていくぞ」と。切ったばかりの痛む腹が据わったのです。続けて先生は「あなたの場合は、一時的なもので半年位で元に戻すからね」と説明してくれました。

「また開腹手術を受けるのか！」と共に「元に戻る！」という思いが交錯しました。手術を受けて目覚めたばかりだというのに、驚くことばかり。こうしてオストメイトとしての新しい人生が始まったのでした。二〇〇五年七夕のことで

した。

オストメイトになった私は、不思議と「あの時もっと早く手術を受けていれば」と一度も考えませんでした。逆に、誰のせいでもないと思えました。今この時、ストマに集中し、主体的にストマと向き合い付き合う為には、仮定の考えや誰彼のせいなどにしては前に進めませんでした。お臍の右側に造設されたストマは私のライフラインであり、山茶花色の可憐な愛しい存在だと心底思いました。ストマのおかげで「この身は私」と断言できる自分になっていました。

現在、私は幸いにも自分の肛門から排泄し見た目は「元通り」ですが、以前とは違う実感があります。

障害の有無は紙一重の差であり、命は平等であること。他者に対して働き掛けること。動ける範囲で動くこと。このささやかな気づきの為に私は自分の命を賭けて学習したのだと思います。

ネリマサウンドと私のビジョン

株式会社ネリマサウンド代表取締役

安藤 昭夫

昭和五十四年一月、ネリマサウンドは個人業としてスタートしました。ネリマサウンドを作るきっかけになったのは趣味のアマチュア無線でした。

ある日私は、キリスト教伝道のため日本に来ていた宣教師と交信しました。教会で英会話教室を開いていると聞いて、海外にハムの友達を作りたいと思った私はその教室に通い始めました。

「英語の正しい発音を勉強するにはテープレコーダーを買ってください」

宣教師のその人はテープレコーダーを免税店で買ってきてくれました。さらに、「私が仕入れてくるからあなたは同じ視覚障害者の人たちにそれを分けてあげなさい」と言ってくれました。

ともかく点字新聞に出してみました。安いうえに視覚障害者の立場で声の取扱説明書を付けたことで、高値の花だったテープレコーダーにみんな飛びつきました。それがきっかけで私はこの業界に入ったのです。

当時、見えない人のための資料などまったく無く、頭を抱えたことが何度あったことやら…それを解消するため、アマチュア無線のノウハウを活かし、アイデ

ィアを盛り込んだオリジナル商品の開発に力を入れました。原点は生活をしていく上で、自分で困ったことの中から製品化していくことでした。

仕事はあつてあたりまえではない、無い仕事をあつてのように仕向けるのが経営者の役目であると、歯を食いしばって必死に生きました。その結果少しずつではありましたが、お客様にも信用の根を徐々に下ろして行くことが出来ました。

私を救ってくれたのはアイディアを盛り込んだオリジナル製品でした。現在ではどこでも売られている透明タックパーパー、どんなテープレコーダーも自由にスピードが変えられるスピードコントローラー。今思えばほんのわずかではありましたが、遠くから私の人生に明かりが見えてくるようでした。

昭和五十六年娘が二歳の夏のこと、大熱を出したことがきっかけで、音で判る体温計を考案することに成功しました。これが点字毎日新聞、ラジオなどで取り上げられ、全国に名前が知られるようになります。この話題は、その後大手会社で音声体温計を作るヒントとなり、このドラマは涙なくして語れない、今でも語り草になっています。この考案がネリマサウンドが全国に知られる結果となり、多くの販売店からも注目を浴びるようになったのです。

数々の試練を乗り越え、全盲夫婦というハンディーを克服し、いくつかの大手

メーカーと代理店契約も出来、七人の支持者と一千万円の資本金をベースに、株式会社昇進したのは平成二年三月二十日のことでした。

この喜びを一番に報告したかった宣教師はすでに母国へ帰っており、手を取って喜び合うことは出来ませんでした。苦しい時は、すでに動かなくなったあのテープレコーダーに語りかけて生きてきました。七転び八起きと言いますが、常に原点を忘れずに、目の利益だけを考へることなく、原則として私の使えない物



は販売しない、またははつきりと、見えない人のために作られた商品ではないことを明記して、販売をしてきました。出来る限り商品にはメーカーとは違う説明書も添付してきましたつもりです。

時代は大きく変わりました。今ではどの販売店もホームページを持ち、ネットショップに力が入っています。しかし、私がそれらのネットを訪問してみると、読めないもの、読みにくいもの、あげくに目的は果たせざるがためにしょう

ことも少なくありません。そこで私は未来に向けて、見えない人の読みやすい、

はぐれないそんなホームページはできないものかと、現在微力ながら私の知識を注いでいます。

また、将来は、判りやすいホームページで誰でも安心し、どんな商品も、一箇所ネットリンクを集合して、いつでもどこからでも、どこの商品も買えるようにすべきだと考えています。

さらに、スカイプ電話や、リモートアシスタンス「コンピュータと接続し問題の解決をお手伝いするサポートセンター」を設立し且つ、強化することで、パソコン初心者の方がどんなに助かることでしょう。それには大手の図書館や、国の認める視覚障害者の団体が立ち上がることを心より願っています。

お陰でネリマサウンドは、今年で創業三十年目を迎えることができました。

これからも仕事に追われることなく、仕事を追い求めて行きたいと考えている私です。楽しい気持ちで仕事をする中で、最大のサービスが出来るのだと思うからです。

未来のビジョンとは皆の知識の結集であり、皆の意見が作り上げて行くものであると私は思っています。

安藤昭夫さんのプロフィール

昭和十九年生まれれの六十三歳。奥さんも視覚障害者の全盲のご夫婦です。はじめは三療業で生計を立てていましたが、現在は企業家として視覚障害者の人のトータルな生活の充実を目指して活動しておられます。

みんなが話そう

「団体活動ニユース」

さいたま市はすごい！ と言われました

全国手話通訳問題研究会
さいたま市聴覚障害者協会

私は二月九日(土)～十日(日)三重県で第二十四回全国手話通訳問題研究討論集会に参加しました。

一日目は午後一時から第十二分科会「手話通訳者の設置・派遣について」で、さいたま市として発表をしました。まず、司会者の国弘さんと田村さんが担当としてスムーズに進め、共同研究者の全日本ろうあ連盟理事長の安藤豊喜氏からアドバイスをいただきました。さいたま市の森田さんと渥美さんと鈴木さんが、設置と派遣の件で説明し、引き続き私も「設置に求めるもの」を発表しました。

さいたま市は政令指定都市として、十区役所に手話通訳者を置いて、全国の各県からすごいと言われました。

北海道、群馬県、静岡県、京都府などから質疑応答が多く出たものの、討議した上でほしい解決が来ました。

二日目は朝九時から第十二分科会「手話通訳者の設置・派遣について」で、引き続き討論し、共同研究者から更にいろ

いろとアドバイスをいただきました。

全国手話通訳問題研究会討論集会で、さいたま市として私は初めてレポート発表し緊張しました。二日間参加することで色々な勉強になり、無事に終わって、ホッとしました。

来年の場所は千葉県です。私もまた行きたい気持ちがあります。 町田 富雄



▲レポート発表を終わってほっと一息の町田さん

すばらしかった さいたま市大会

関東ブロックサウンドテーブル
テニスさいたま市大会
さいたま市視覚障害者協会

平成十九年十一月二十四・二十五日の二日間にわたり「関東ブロックサウンド

テーブルテニスさいたま市大会」が開催されました。

第二十一回を迎えたこの大会は、私もさいたま市視覚障害者協会にとっても大きなイベントでありました。

二年にわたる準備を経て、また多くの方のご支援・ご協力を賜りすばらしい大会となったことを感謝申し上げます。

参加された各地域の選手の方々からも喜びの声をいただき、楽しい親睦の時も持つことが出来ました。

試合においては、さいたま市は団体戦で一位、個人戦女子で一位をいただくことが出来ました。

日ごろの練習の成果を發揮できたのではと自負しております。

試合の緊張感だけではなく、選手一人一人のスポーツにむける一生懸命さとそれ以上の楽しそうな様子とに感動いたしました。

障害を超えて、こうして一つの事に夢中になれることのすばらしさを教えられ、勇気も貰うことが出来ました。応援下さった多くの方々へ感謝致します。

また、これからもスポーツだけでなく文化・芸術に、ともに楽しみながら携わっていききたいと願っております。

山崎 道子



▲STT(サウンドテーブルテニス)の球はネットの下をくぐります

楽しみは

会員家族研修会

さいたま市身体障害者福祉協会
与野身体障害者福祉協会

与野身体障害者福祉会は、昭和二十八年に「与野町」の時に設立、半世紀がたちました。会の活動のなかで会員が一番楽しみにしているのは、会員、家族研修会懇談会で、講師は、さいたま市中央区長にお願いしています。

平成二十年一月十八日には黒田重次区

長にお願いしました。来賓には、区健康福祉部長、支援課、社会福祉協議会、浦和、大宮、岩槻、各福祉会の代表を迎え、あいさつの後に行われた区長の講演内容は、さいたま市の十九年度の市政及中央区政の内容でした。

市政については、市の総予算三八一七億円でその内福祉予算は二六・六%です。又各区に出している、自由につかえる一億円の予算について中央区は、面積、人口が少ないので八七五〇万円で、区の予算として使っています。区長の講演後、来賓を交えて懇談し楽しく過ごしました。

他に会として、与野公園清掃、バラ祭りに清凉飲料の販売で参加しています。

その他、さいたま市身体障害者福祉協会にも、ふれあいスポーツ大会にも協力参加しています。

高橋 一男



抱腹絶倒の新年会

精神障害者家族会連絡会
もくせい会・定例会

精神障害者家族会連絡会には、市内の四つの会が属していますが、そのひとつである「もくせい会」では、一月二十日の定例会日に新年会を開催し、六十三名の会員とメンバーさんが参加して、和やかなひと時を過ごしました。

もくせい福祉会理事としてまた後援会

の会長として、外部から協力をして下さる方々も招き、昼食や作業所で作ったクッキー、飲み物等をいただきながら、おしゃべりに花を咲かせたり、担当者が企画した寸劇（藤原紀香と陣内智則の結婚式）に抱腹絶倒して、涙が出ました。

小さな頃から練習してきた、この病のために一時途絶えたピアノに再度向かい、シヨパンとヨハン・シュトラウスのワルツを演奏したメンバーさんに感動し、ギターの伴奏をして、メンバーの調子に一生懸命合わせようとする職員の姿

団体紹介

障害難病者の生きがいを求めて

— NPO法人さいたま市障害難病団体協議会 —

昭和四十四年四月、私たち障害の異なる四団体が福祉、教育、そして医療など問題をクリアし心地よく生きるための行動を突き動かし結集、活動が始まりました。やがて、平成三年十月、旧大宮市内の身体、知的、精神、難病など二十六の団体が大同団結して『大宮市障害者団体協議会』が発足するに至り、市内の障害難病者の医療ほか、雇用、防災、障害児の子育て支援等地域生活の充実をめざし、政策推進を行政に要望し、団体相互の研修、ふれあい交流を図り、当事者と家族のQOL向上に努めております。

平成七年五月には、私たちが切望して止まない活動の拠点となる「さいたま市



▲シヨパンのワルツに感動しました

からは、限らない優しさが伝わってきた。

家族会会長は、今後の福祉会活動に役立てようとバザーを実施して忙しく動き回り、皆の気持ちを少しでも明るくしたいと、浦和踊りを踊る折には輪の先頭に立ってリードしていて、心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。

今後も、同じ悩みを持つもの同士、お互いを大切にしながらか、話し合い学習し合って、取り組むべき課題に向き合って行きたいと思っています。 飯塚 壽美

大宮ふれあい福祉センター」（現在）がオープンしたことは喜ばしく、その後の展望を明るくするものでした。

当館四階には、さいたま市障害者協議会及び、団体活動の事務スペースが在るのは、みなさまご承知のとおりです。

平成十二年十一月、県と市の補助と自

己資金を基に心身障害者地域デイケア施設『デイケアかものみや』を開設し、在宅療養の障害難病者の心身のリハビリ、文化活動など積極的な社会参加を図るための支援をしております。重度障害者など十六人が施設利用者として登録されており、朝と夕の送迎を実施し、精神的、脳機能障害者も受け入れ、パソコン、

知的、脳機能障害者も受け入れ、パソコン、

また埼玉県障害者協議会に加盟、多くの他団体に学ぶものがあり、諸問題解決に向けて視野を広げ、協力して活動に参加し歩調を図り歩んでおります。

なお、平成十八年六月、NPO法人が認可され、現在に至っております。

代表理事 河端 静子



▲おいしくて、おかしくて、楽しくて…みなさんご満悦です

最後にりましたが日ごろ障害者協議会の活動と運営に尽力を重ねてくださる皆様に心より感謝を込めて更なる幸あれと願いつつ・・・乾杯!

微力ですが皆様のお役に立てるよう努力していく所存でございます。よろしくお願いたします。

(W)

宴の和は ことばを超えて

さいたま市障害者協議会
第四回交流会
みなわ会 新井加代子

平成十九年十二月十七日(月)、忘年会を兼ねたさいたま市障害者協議会第四回交流会が開催されました。

会場はさいたま新都心駅西口下車、「ホテルブリランテ武蔵野」、何度か会場

へのアドバイスを受け6階の「ゴイチ会席」へたどり着いた時は心ならずも当日参加者二十名の取りを勤める結果となつてしまいました。

席上には例会のレジュメならぬ会席のお品書きとお茶、加えて小さな茶花の色どりが心地よい寛ぎの優しさを添え、会場は微笑みとさざめきに満ち、お品書きに順じて程ほどの頃合いに一品ずつ見事に変身した食材がそれぞれの味わいを込めて卓上へ、食の楽しさを共有する宴の幸せは心の温もりと共に言葉を超えた新たな交流の一時に変わりました。

交流会最後のお品書き

は阿弥陀くじ、御仏のみぞ知る悪意なき人生ゲーム。参加者全員が個々の屈折した坂道をたどりながら己れの運勢の終着点に向かつてワクワク・ドキドキ、童心に帰った一時でした。ちなみに私は三等賞、ホットな幸わせ、さて幸運の運勢の微笑みに輝いた人はどなたでしょう?

事務局だより

九月に協議会に入りあつという間に半年が経とうとしています。各団体の会員の皆様にもこの顔を覚えていただけただ頃かと思えます。だとしましたら幸いです。

すぐに十九年度の家族教室と生活訓練が始まったので、どんなことをやるのだろうかとドキドキ、ワクワクで各会の事業に出かけていきました。先日今年度最後のオストミー協会の生活訓練等事業があり、全部で十の事業に参加させていただき、少しずつ業務内容がわかるようになりました。各会それぞれのやり方で事業が行なわれていました。

事務局の仕事は多岐に亘り、各団体と行政とのパイ役も含めての業務です。浅輪事務局長始め会員の皆様に教えていただきながら仕事にもだいぶ慣れてきました。また、事務局の先輩職員たちの敷いてくれたレールの上を走れて、環境の整った職場で働けることは私にはうれし

いことで、毎日楽しく仕事をしています。これから協議会がどういうふうになつていくのか、たくさんの人たちの様々なご意見が出て、行政にも聞いていただけるような大きな力を持つていくはずでしょう。

編集後記

春が待たれる今日この頃。ワクワクする気持とは裏腹に、ニュースでは、食物の不安や、身の危険に関する報道が、次々と私達の生活を脅かしています。

どれを取っても即「命の重さ」に深く関係するものばかり。時々、「人間本来の心は何処へ行ってしまったのだろう」と、限りなくやりきれない気持ちになります。一人の人間の背後に、どれだけ多くの人が関わり、生活の喜びや悲しみを分かち合つて暮らしているか知れないのにな。そんな中、私達は、本当の生きる意味や、その価値を共有できる、かけがえない仲間として、これからも強い絆を大切にしたいものです。「光ある者は、光あるものを友とする。」(柳原

さいたま市障害者協議会
会報あ・うん第8号
発行 さいたま市障害者協議会
会長 望月 武
編集 さいたま市障害者協議会広報委員会
〒330-0801 さいたま市大宮区土手町 1-213-1
大宮ふれあい福祉センター 4階
TEL 048-653-7271
FAX 048-653-7341
http://www.saitama-planet.com/
e-mail saitamacity-handynet@nifty.com

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。